

情報公開文書

研究の名称	遠位胆管癌の切除断端、剥離面の予後に与える影響
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	消化器・腫瘍・総合外科 藤井努
研究の概要	<p>【研究対象者】 2017年から2022年までに遠位胆管癌手術を受けられた方</p> <p>【研究の目的・意義】 胆管癌手術は予後不良の疾患であり、外科切除が唯一の根治的治療です。胆管癌の進展範囲の画像所見に基づく把握は困難性を伴い、実際の切除で切除断端や剥離面に結果的に癌陽性となることがありますがこの結果が予後に与える影響については不明な点も多いのが現状です。今回当科で切除した遠位胆管癌症例のこれら病理結果と予後に関して後方視的にその意義について検討します。</p> <p>【研究の方法】 2017年から2022年までに当科で施行しました遠位胆管癌手術56例を対象としました。当院で治療を受けた症例のデータを電子カルテから取得して解析致します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2024年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>各症例の診療録(電子カルテ)のデータ収集</p> <ul style="list-style-type: none">・手術日・年齢、性別・身長、体重・全身状態・既往歴(これまでに患った病気)・術前採血結果 (白血球数、赤血球数、血小板数、好中球数、リンパ球数、単球数、Alb、ChE、T-Chol)・術式・手術時間・出血量・術後合併症・再発の有無と再発形式・予後(無再発生存期間、全生存期間) <p>他機関への情報の提供はありません</p>

研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科 吉岡伊作
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7331 FAX 076-434-5043 E-mail isaku@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 消化器・腫瘍・総合外科 吉岡伊作